



謹賀新年



組合員の皆様方におかれましては、輝かしいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年が皆様方にとって良き年でありますよう心よりご祈念申し上げます。日ごろは組合事業活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り衷心より感謝し厚くお礼申し上げます。

昨年は全国各地で大規模な自然災害が発生し、特に我々の住む近畿地域でも大阪北部地震に始まり、西日本豪雨、台風被害と短期間に大きな災害が続きました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本年は、天皇陛下のご退位により、平成最後の年であり、HQM 農協といたしましては昨年4月に事業開始し、2年目の年となります。生乳取引価格交渉も我々の要求する満額の回答とはなりませんでしたが値上げで決着し、細部の調整に入っているとの声が聞こえてきております。組合といたしましては、更なる合理化に取り組み、推進し、酪農家の皆様方の収益基盤を磐石にするため改革を推し進めてまいりたいと思います。そして、次世代を担う後継者が育っていく環境を築き、組合員のコスト低減を第一に考え、県下集送乳路線の再整備と酪農家自身の自立を促し、何よりも消費者を常に念頭に意識した、消費者ニーズに沿った安心・安全な生乳の生産、すなわちハイクオリティミルクを旗印に掲げ、生・処・販が一体となり酪農産業を盛り上げていく事業を推進していきます。

一方で、生産者の高齢化や規模拡大による作業負担の増大化を軽減させていく取組みや、女性や若い後継者も共に意見の出し合える環境整備。HQMの独自性を活かした融資制度の利活用の推進。IT化による迅速な情報提供等々の事業展開を進めてまいります。

しかしながら、農業情勢、酪農を取り巻く環境は厳しい状況が続くと予想されます。組合員の皆様と力を合わせ、生乳生産基盤・畜産業の復活・拡大を目標とし、現状組合員で近未来30,000トンの生乳生産を目標に掲げ、生産者として自信の持てる生乳の出荷、ハイクオリティミルクの生産に向けて皆様のご理解とご協力を得ながら役職員一同一丸となって、2019年の干支でもあります猪のように猪突猛進の如く酪農業発展の為尽力してまいります。

平成31年1月吉日

ハイクオリティミルク農業協同組合

丸尾建城 

